

研究通信

2024. 4. 15

～メンタリングを用いた教師の実践力の育成～

岩永

今年度がスタートしました。慌ただしい日々が続きます。先生方、体調だけは崩されませんように。OJTに参加された先生方より感想をいただきました。紹介致します。年度当初よりたくさんの先生方の積極的な参加ありがとうございます

第1回 OJT (2024.4.3 15:50～)

「国語教室開き（学級開き）」～個の国語力の把握を行いながら～
講師：池田直人校長先生

- 模擬授業形式でだったので、リアルな体験をもとに研修を行うことができました。いろんな技術をたくさん実践してみたいと感じました。ありがとうございました。
- 学級開きのアイデアをいただき、ありがたい気持ちです。でもそれ以上に、対話しながら授業を進められる校長先生のいつも通りの姿をまねしていきたいと考えています。そのためにも一人一人の子どもを見て、一人一人の子どもに合った声かけが必要だと思いました。
- 1つの活動から児童のそれぞれの力をみていく方法がよくわかりました。どうしても児童とのやり取りに私自身が夢中になってしまい、改めて振り返ると児童の良さを見落としてしまいがちになります。シートの事前準備や教師の声かけ、間のとり方、モデルの示し方などいろいろな教科で使えることを教えていただき、勉強になりました。
- 1年間のうちで一番大事な学級開き同様、各教科における教科開きについても子ども達が、今年の学習も楽しそうだなという見通しがもてるよう考えて進めたいと改めて思いました。活動をする時には、なぜその活動を仕組むのか活動の目的をしっかりとっておく必要性も再確認できました。
- 授業開きから国語の力をつけていく指導方法を知ることができ大変勉強になりました。クイズを取り入れたり質問したり子どもたちもきっとワクワクと楽しみながら友達のスピーチを聴くと思います。今後の学習の布石になっている一時間の授業の仕組みが、今後の学ぶ意欲につながっていくと思いました。
- 第1回 OJT を池田校長先生に開催頂き、どのような形式で進んでいくのか理解することができました。ありがとうございました。ほかの先生方とのやりとりも面白くまた、興味深く、学級開きの大切さやその中で国語力の把握の方法もわかりました。さっき言われたはずの情報でさえ意識しないと覚えていないということもショックでしたが、普段の授業の中で子ども達に意識を向けさせるような授業展開の工夫というヒントも頂きました。どの子どももやる気を継続して臨めるような工夫を絶えず忘れず北鹿島小学校での教員生活を始めようと思います。よろしくお願いします。

校長先生、ありがとうございました。